

## 西日本豪雨水害被災地への義援金ならびに目録贈呈式

平成30年7月に西日本を襲った豪雨水害で、愛媛県大洲市、西予市、広島県呉市、熊野町、岡山県倉敷市真備町などは、かなりの被害を受けた。国もいち早く激甚災害に指定し、国や県の行政、また、地元の方や多くのボランティアによる、早期の復旧作業が待たれるところである。

兵庫教育大学大学院同窓会も、東日本大地震、熊本地震と並んで、同窓生も多く被災されたこの三県に義援金を届けに9月18日に、同窓会を代表して、川村会長、副会長船本、山本の3名で各所を回った。

まず、愛媛県大洲市平公民館で、大洲市教育委員会、宇和島市教育委員会宛に、義援金を贈呈した。目録および義援金は大洲市を代表して、修了生である池田さんに贈呈した。池田さんは大洲市菅田の方であり自然系修了生で、これまでに熱心に集めてこられた植物の標本を流され、床上70センチ程度まで水が上がってきたと話された。

また、公民館横の体育館等に230名もの近隣にお住いの方が避難されたとのことであった。普段は水に浸からないような高さまで水が来たとも伺った。

大洲市では、愛媛県支部代表清田氏以下、修了生4名が、駆けつけてくださり、贈呈式を執り行った。なお、宇和島市には、清田支部代表自身が届けに行ってくださいの運びとなった。



目録を読む川村会長

清田愛媛県支部代表と大洲市代表と懇談

次に、今治からしまなみ海道を渡り、広島県呉市、および熊野町に入る予定であったが、呉の国道が渋滞していることや、尾道からはまだ2時間もかかるということで、同窓会元会長山下氏、現広島県支部長の津田氏が、わざわざバラの町福山市まで駆けつけてくださり、贈呈式を執り行った。

お話を伺うと、修了生で、現在、熊野町教育長として勤務されている林保先生は、自宅が山津波と洪水によって流され大変な被害を受けたとのことであった。林先生本人は、自分のことをさておき、町の被災者の方の世話をやいていらっしゃるということで、頭が下がる思いがした。

なお、宛先は熊野町教育委員会教育長宛である。



福山での目録贈呈式(津田広島県支部代表に)

その後、岡山県倉敷市菅生小学校を訪れ、岡山県支部代表の千葉氏と面談。贈呈式に臨んだ。お話を伺うと、体育館には約300名もの方が避難されて来たことと、今までにない大雨で、高梁川の堤防が決壊してなすすべがなかったとのことであった。なお、岡山県内は真備町だけでなく、高梁川の一帯が被災されているということで、県教育委員会、教育長宛の目録、義援金贈呈となった。



岡山県支部代表 千葉氏に目録贈呈(於 倉敷市立菅生小学校)

なお、今回の水害が広範囲に及ぶこともあり、大学院同窓会三役で被災地を訪れ、実際に見聞きして目録、義援金の贈呈式を執り行うことができたことは、同窓会活動の点からしても大いに意義のあることだと言える(文責 船本秀忠)。